

非抜歯矯正治療の決定版，好評発売中！

●1994年の初来日以来，日本に非抜歯矯正の議論を巻き起こしたGreenfieldのCADテクニックをベースにした，MOOテクニックの本格的解説書。

●非抜歯矯正治療を“臼歯のリポジショニング”というコンテキストの中に位置づけることにより，長期に調和し持続可能性のあるサステナブルな歯科矯正治療が可能となることを提唱する画期的な一冊。

●最新のインプラント矯正や歯周再生治療まで包括的に取り込んだ治療システムが提示されているため，矯正専門医のみならずインターディシプリナリー治療を行う一般歯科医にとっても新しいコンセプトによる治療への道しるべとなるでしょう。

CONTENTS

- I 治療哲学
- II 治療戦略
- III 治療戦術
- IV MOOの臨床（16症例）

■A4判変型・288頁・オールカラー

■定価（本体 22,000円+税）

ISBN978-4-263-44348-4

非抜歯矯正治療

Molar Oriented Orthodonticsの実際

有本博英・賀久浩生・篠原範行 [著]

推薦の言葉より（抜粋）

本書は，非抜歯の矯正治療という特徴的な分野において経験と実績を重ねた3人の著者の，膨大な症例とその写真を通してまとめられた，診断から治療に至る集大成である。

彼らのMOOという方法は，N.Cetlinの哲学から導きだされたものであり，患者の協力を要しないテクニックに志向して改善を重ねられた，そのコンセプトの革新性の背後にある概念は，ほとんどの不正咬合でみられる臼歯の近心舌側傾斜とローテーションを，まずリポジションしていくという発想である。

本書にはこのテーマの最新の情報が，明瞭に，かつ流れるように書かれており，とても興味深いものになっている。若いドクターからエキスパートまでぜひお読みいただきたい。本書が矯正歯科という領域に貢献し，その幅を広げることは間違いないといえよう。

前ナポリ第二大学歯科矯正学講座教授

イタリア非抜歯矯正学会 会長 **Adolfo Ferro**

非抜歯による矯正治療について，これほど集中的にその理念（本書では哲学）から臨床にいたるroad mapが，見事にかつ詳細に描かれたものは，珍しい。

抜歯・非抜歯に関わらず，新たな発見が本書の随所に秘められている。非抜歯に関する先達の，N.Cetlin，R.Greenfield 両師の業績を凌ぐ力量を思わせる，歴史に残る1冊になるはずである。

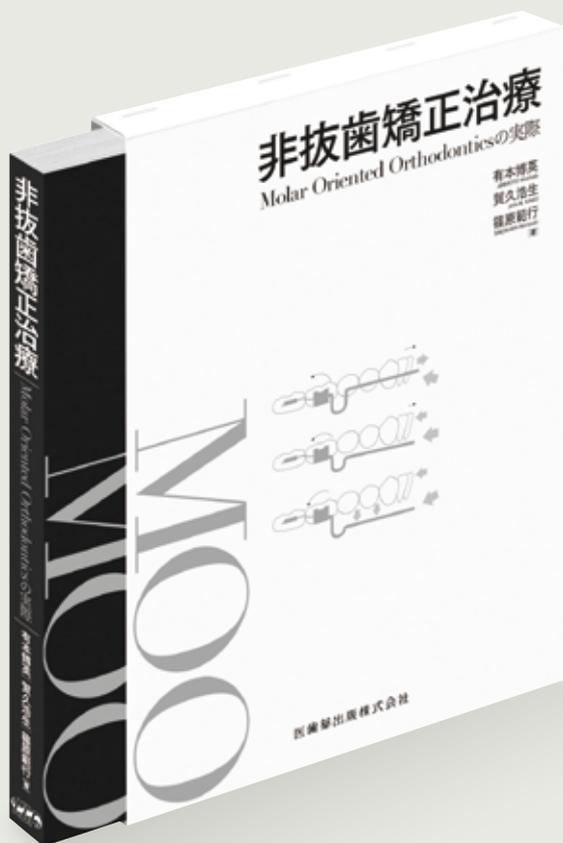
ゆっくり時間をかけて読むに値する，学ぶことの多い著作である。

昭和大学名誉教授 **福原達郎**

本書は，治療哲学，治療戦略，治療戦術，MOOの臨床，の4編で構成されている。この構成は，矯正歯科の領域ではユニークで新鮮な驚きを与えるかもしれない。

最初の「治療哲学」では，文字通り著者らが基盤とする治療哲学が熱く語られている。最初に臼歯の整直と遠心移動を行って臼歯の位置づけを正し，それを基準にして切歯を配列すると広く丸い歯列弓形態が得られ，その正常咬合は安定的に維持されるという。この「治療哲学」が本書の立脚点であり，「非抜歯矯正治療」の起点となるところである。

読者にはまず「治療哲学」を，最初にしっかりと読んで頂きたいと願っている。鹿児島大学名誉教授 **伊藤学而**



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633
<http://www.ishiyaku.co.jp/>



I 治療哲学

- 1 IOOとMOO
- 2 MOOとは
- 3 サステイナブルな治療

II 治療戦略

- 1 One Stage, Two Phase Treatment
- 2 治療のタイミング

III 治療戦術

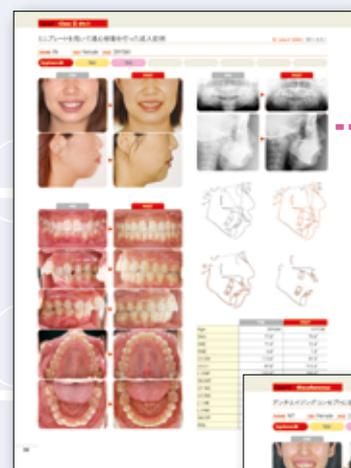
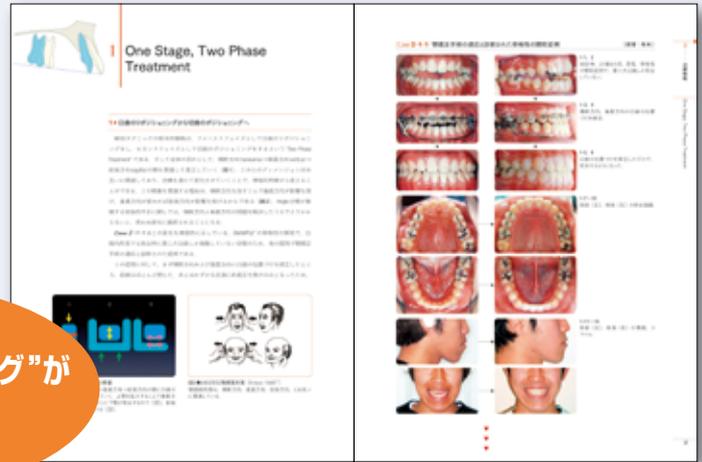
- 1 臼歯のリポジショニング
- 2 切歯のポジショニング
- 3 Finishingのティップス

IV MOOの臨床

MOOアプローチについて

- 1 成長期の下顎後退を上顎臼歯の遠心移動で治療する
 - Case1 GMDを用いた下顎後退を伴う混合歯列期後期のⅡ級1類
 - Case2 ACCOを用いた下顎後退を伴う混合歯列期後期のⅡ級1類
- 2 MOOを成人Ⅱ級症例に適用できるか？
 - Case3 効果的に前歯の圧下を行った成人Ⅱ級2類
 - Case4 顎関節内障による開口障害を伴うⅡ級2類
 - Case5 ミニプレートを用いて遠心移動を行った成人症例
- 3 臼歯のリポジショニングが鍵となるハイアングル・開咬症例
 - Case6 ハイブルヘッドギアとMEAを用いて治療した成長期のⅡ級開咬症例
 - Case7 交差咬合と下顎側方偏位を伴う成人Ⅲ級開咬症例
 - Case8 TPAとミニスクリューで垂直的コントロールを行った開咬症例
- 4 MOOを適用したⅢ級症例
 - Case9 骨格的補正を行った後にMOOを適用したⅢ級症例
 - Case10 Ⅲ級治療におけるインサイザーショウイングの重要性
- 5 8mm以上の叢生症例であっても最初に抜歯と診断しない
 - Case11 保定5年経過した成人の著しい叢生症例
 - Case12 短根歯を考慮してドリフト移動とディスクングにより治療した成人Ⅲ級叢生症例
 - Case13 臼歯の位置が左右で著しく異なる重度の叢生症例
- 6 その他の症例
 - Case14 非抜歯で上下顎前突をどこまで改善できるのか？
 - Case15 PAOOとTADを応用したインターディシプリナリー治療
 - Case16 アンチエイジングコンセプトに従って治療した重篤なガミースマイル

“臼歯のリポジショニング”が
非抜歯矯正の鍵！



Case5
ミニプレートを用いて
遠心移動を行った
成人症例

Case16
アンチエイジング
コンセプトに従って
治療した重篤な
ガミースマイル



医歯薬出版 ご注文承り書

非抜歯矯正治療 Molar Oriented Orthodonticsの実際

()冊

() ()冊

ご指定納入店 () (納入店ご指定の場合 手数料はかかりません) 直送希望 (一回の発送につき手数料 450円が別途がかかります)

●お名前

●TEL

●ご住所 (〒 —)